

いばらキラキラ 拠点だより

vol.16

9

2026

CONTENTS

- TOPICS** ◆ 令和7年度食料自給率を公表しました！
◆ 関東農政局に企業の農業参入等を支援する総合相談窓口を開設
◆ 7月から9月は「夏の熱中症等対策声かけ期間」です
- EVENT** ◆ 「全国トレーニングファーム推進協議会」第1回総会開催！
◆ 「令和8年度農山漁村女性活躍表彰」 **応募受付中**
◆ 「国内肥料資源の利用拡大に向けたシンポジウムin関東」開催！
◆ 「食育実践優良法人2027」の申請受付を開始！ **応募受付中**
◆ 「全国棚田行脚！キャンペーン」開催中
- INFO** ◆ GREEN×EXPO 2027『地球と。咲きに行こう。』

今月のいばらきスナップ



開場を彩るひまわり
那珂市（なかひまわり
フェスティバル）

TOPICS 令和7年度食料自給率を公表しました！

食料自給率とは、国内の食料供給に対する食料の国内生産の割合を示す指標です。
我が国の食料の国内生産及び消費の動向を把握するため、毎年公表しています。
令和8年8月7日、農林水産省は令和7年度食料自給率を公表しました。



	令和7(2025)年度 (概算)	2025年基本計画における 令和12(2030)年度目標
供給熱量ベース (カロリーベース)	37% (前年度-1ポイント)	45%
生産額ベース	66% (前年度+2ポイント)	69%
摂取熱量ベース	45% (前年度-1ポイント)	53%

摂取熱量ベースの食料自給率については、平時において国民の日常生活に必要な摂取熱量のどの程度が国内で賄われているかを示す指標であり、昨年度から併せて公表しています。

カロリーベースの食料自給率については、国産供給熱量の減少により前年度比-1ポイントの37%となりました。特に、米の消費量が減少し、民間在庫量が増加しました。

生産額ベースの食料自給率については、国内生産額の増加により、前年度比+2ポイントの66%となりました。特に、米、畜産物の国内価格上昇に伴い、それらの国内生産額が増加しました。

更に詳しく知りたい方は、以下リンク先をご覧ください。

食料自給率・
食料自給力について



https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/zyukyu_ritu/011_2.html

農林水産省HP
プレスリリース



<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/anpo/260807.html>

TOPICS 関東農政局に企業の農業参入等を支援する総合相談窓口を開設します

関東農政局では、農業参入を希望する企業等からの相談を一元的に受け付ける窓口として、「**農業参入等サポートデスク関東**」を開設します。



「農業参入等サポートデスク関東」には、以下2つの窓口を設置します。

自ら農業参入する企業や広域的な規模拡大を行う法人等向けの支援窓口	農業参入を支援する者向けの相談窓口
参入希望企業や広域での営農を検討している法人等から相談を受け付け、その内容を参入希望先の都県に提供します。 (相談者の了解を得るなど、機密情報の管理には十分配慮します。)	企業の農業参入や農業者の離農に伴う事業承継を支援する地域銀行等に対し、必要な助言等を実施します。

以下のURL又は二次元バーコードから、お気軽にご相談ください。

農業参入等サポートデスク関東（フォームリンク）

https://forms.cloud.microsoft/pages/responsepage.aspx?id=_6DkbnJi0qvMEVxNh0TRAYPUMyZx_bxlu61mxmU6G39UMIBLQkpJSE5aQIIRT1VNVUg5OE5ZNEtPOC4u&origin=lpLink&route=shorturl



(参考)
関東農政局HP
農業参入

https://www.maff.go.jp/kanto/keiei/s_hienbu_kyouyu/241025.html

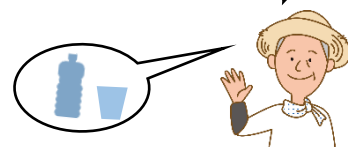


TOPICS 7月から9月は「夏の熱中症等対策声かけ期間」です

近年、農作業中の熱中症等による死亡者が増加しています。特に、令和6年の「熱中症」による死亡者数は59人と、前年の37人から22人の大幅な増加をしているほか、5月から9月においては熱中症以外にも高所からの転落や草刈り作業中の事故が増加しています。

農林水産省は、令和8年度より7月から9月を「**夏の熱中症等対策声かけ期間**」として設定し、声かけ運動を展開しています。

今年のキャッチフレーズは、「**いのちをうばう、夏のひとり作業**」です。農作業中の熱中症死亡事故の多くは1人作業で発生しています。大切な人の命を守るため、家族や地域で声をかけあいましょう！



(参考) 「夏の熱中症等対策声かけ期間」が始まります (農林水産省HP)

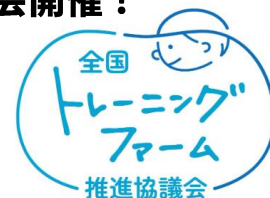
<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/sizai/260630.html>



EVENT 「全国トレーニングファーム推進協議会」第1回総会開催！

農林水産省は、全国各地におけるトレーニングファーム（研修農場）の設置を推進するため、「全国トレーニングファーム推進協議会」を設立しました。

このたび、「全国トレーニングファーム推進協議会」の周知とともに、取組の輪を広げるため、総会及び交流会を開催します。



日時：令和8年9月15日（火曜日）13:30～16:40
(総会：13:30～15:40分、交流会：15:50～16:40)

方法：オンライン（Microsoft Teams）

主催：農林水産省経営局就農・女性課、一般社団法人全国農業会議所

※交流会は、協議会会員のうち参加を希望される方を対象に、運営の都合上、定員を設けております。

申込みフォーム
(外部リンク)



<https://forms.cloud.microsoft/r/mH1BnMZaee>

✓ **参加申込締切日**
令和8年9月9日（水曜日）17:00

協議会の趣旨や総会のプログラムなどの詳細は、農林水産省HPをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/keiei/zinzai/260820.html>



EVENT

「令和8年度農山漁村女性活躍表彰」 応募受付中

農山漁村女性活躍表彰とは、農林水産業及び農山漁村の活性化、農林水産業経営や政策・方針決定への女性の参画推進、次世代リーダーとなりうる若手女性の農林水産業への参入などの優れた活動を行っている個人や団体を表彰し、女性が農山漁村でいきいきと活躍できる環境をつくり、農林水産業の発展に寄与することを目的としています。以下6つの部門で全国の女性農林漁業者や農林水産業における女性活躍を推進する個人・団体が行う素敵な取組を募ります。

部門	概要
A 女性地域社会参画部門（個人）	地域の農林水産業の振興及び農山漁村の活性化のための活動の中長期に渡り積極的に実施している個人（女性）の取組
B 女性地域社会参画部門（組織）	農山漁村の女性が中心となった地域の農林水産業の振興及び農山漁村の活性化のための活動の中長期に渡り積極的に実施している団体・組織の取組
C 女性登用・組織参画部門	政策・方針決定過程への女性の参画を推進するため、積極的に役員等への女性の登用や育成、その他の女性の活躍推進に取り組む個人（性別不問）や団体・組織の取組
D 女性優良ビジネス部門	女性が農業、林業又は水産業の経営の中核を担い、経済的・社会的に優れた成果をあげている個人（女性）又は団体・組織の取組（必ずしも女性が農地法・会社法等上の代表である必要はない）
E 女性新規事業・チャレンジ部門 (旧部門：女性起業・新規事業開拓部門、若手女性チャレンジ部門)	女性ならではのアイディアに基づく新規事業の実施や自身の経営・活動のステップアップに向けて挑戦する概ね5年以内の個人（女性）又は団体・組織の取組
F 女性活躍応援・次世代育成支援部門 (旧部門：女性活躍経営体部門、地域子育て支援部門)	農林水産分野における女性の新規就業や活躍を応援・支援する個人（性別不問）や団体・組織（行政機関を含む）の取組

✓ 募集締切日
令和8年9月30日（水曜日）

応募方法などの詳細は、令和8年度農産漁村女性活躍表彰特設サイトをご覧ください（外部リンク）<https://ntour.jp/women/award/>



EVENT

「国内肥料資源の利用拡大に向けたシンポジウムin関東」を開催！

国内肥料資源の利用拡大に向け、「国内肥料資源の利用拡大に向けたシンポジウムin関東」を開催し、先進事例や管内の補助事業の事例の紹介を通じて、新たな技術・知見を関係者間で共有します。

「国内肥料資源の利用拡大に向けたシンポジウムin関東」

◆ 日時：令和8年10月29日（木曜日）13:00～15:35

◆ 場所：時事通信ホール
（東京都中央区銀座5丁目15-8 時事通信ビル2階）

◆ アクセス：東銀座駅より徒歩2分

◆ 参加対象：どなたでも参加できます。参加費は無料です。

◆ 参加申込等：特設Webサイトからお申し込みください。
9月12日（土曜日）から来場登録を開始します。（先着順）
現地での登録・入場は大変混雑いたします。
事前申込のご協力をお願いいたします。

国内肥料資源の利用拡大に向けたシンポジウムin関東
特設Webサイト（外部リンク）



<https://agri.mynavi.jp/hiryo-forum/kanto/>

プログラム(予定)

12:30～ 開場・受付開始

13:00～ 開会挨拶

13:05～ 基調講演

14:00～ 事例発表 ※終了後、名刺交換、交流会の時間を設けます。

EVENT

「食育実践優良法人2027」の申請受付を開始！ 応募受付中

農林水産省は、企業における食育活動を評価・認定する「食育実践優良法人2027」の申請受付を開始しています。働く世代を対象とした「大人の食育」を推進するため、従業員の食生活改善や健康づくりに積極的に取り組む法人を広く募集し、その優良な実践事例の横展開を図ります。

✓ 募集締切日
令和8年10月30日（金曜日）

応募方法などの詳細は、農林水産省HPをご覧ください！！

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/hyoji/260817.html>



EVENT

全国の棚田に会いに行って応援！「全国棚田行脚！キャンペーン」

スマホで
全国棚田行脚！
スタンプラリー

2026 7/15 ▶ 11/30
(水) (月)

全国の棚田に会いに行き、
応援しよう！

MAFF 農林水産省

棚田を巡って
スタンプを集めると
700名様以上に当たる！

- スタンプ1個以上で
総勢もらえる！
棚田産品100円分（クーポン）
- スタンプ2個で
500名様に当たる！
棚田産品100円分（クーポン）
- スタンプ3個で
150名様に当たる！
棚田産品100円分（クーポン）
- スタンプ4個で
60名様に当たる！
棚田産品100円分（クーポン）
- スタンプ5個以上で
Wでゲット！
① もれなく「棚田アートバック」
プレゼント！② 数量限定
③ 100名様に当たる！
棚田産品100円分（クーポン）

Instagram投稿！
「私と推し棚田フォトコンテスト」
でももらえる！
・ランプリ賞（13名）棚田産品5kg
・ランプリ賞（13名）棚田産品2kg
・ランプリ賞（10名）棚田産品1kg
※賞品は農林水産省の
キャンペーンページで
チェック！

農林水産省は、全国の棚田地域を訪れるきっかけづくりを通じて棚田への理解と関心を高めるとともに、棚田地域への誘客促進や地域振興につなげることを目的として、全国213の棚田を対象としたデジタルスタンプラリー「全国棚田行脚！キャンペーン」を実施中！

また、「私と推し棚田フォトコンテスト」も同時開催！

詳細は、農林水産省HPをチェック！

私と推し棚田フォトコンテストに
応募してね！

Instagram投稿方法
#全国棚田行脚スタンプラリー2026
@tanadaoshiをタグ付けて投稿

全国棚田行脚！キャンペーン
農林水産省HP
<https://www.maff.go.jp/j/nousin/tanada/angya.html>



INFO

来年3月に開幕！GREEN×EXPO 2027『地球と。咲きに行こう。』

横浜市で開催される2027年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）まで、200日を切りました！

本博覧会は、日本における最上位クラス（A1）の国際園芸博覧会として1990年大阪花の万博以来、37年ぶりの開催となります。皆さまに楽しんでいただけるよう、会場の準備が着々と進んでいます。最新情報、見どころやチケット情報などは、公式HP（外部サイト）をチェックしてください！

2027年国際園芸博覧会
公式ウェブサイト（外部サイト）

<https://expo2027yokohama.or.jp/>



開催期間：令和9年3月19日(金)から9月26日(日)

2027年国際園芸博覧会
横浜・上野 2027.3.19 - 9.26

GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

The Blooming Field of Planetary Citizens.

地球と。
咲きに行こう。

国際園芸博覧会
グリーン×エキスポ

Request

広報紙アンケートにご協力ください

今後の広報紙づくりの参考とさせていただきますので、ぜひ率直なご意見をお寄せください。こちらのアンケートフォームよりご回答ください。

<https://forms.office.com/r/4rn7F5DvcY>

広報紙「いばらキラ☆」拠点だより 読者アンケート（☆所要時間1分☆）

広報紙「いばらキラ☆」読者アンケート

（所要時間1分）

このアンケートは、読者のみなさまからのご意見を伺うために、本報が作成しています。ご回答いただいた情報は、本報の改善に活用させていただきます。ご回答をお願いいたします。

今すぐ回答

地方参事官ホットライン ☎ 029-221-2185

農政に関するご相談、事業や制度へのご質問などがございましたら、お気軽に地方参事官ホットラインまでお問い合わせください。また、広報紙に関するご意見等もお待ちしています。

お問合せフォーム



<https://www.contactus.maff.go.jp/kanto/form/ibaraki/28hotlineibaraki.html>

茨城県拠点HP



<https://www.maff.go.jp/kanto/chiikinet/ibaraki/index.html>